学校番号	3010

令和8年度　　美術　　科

教科	美術	科目	素描	単位数	2 単位	年次	1　年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	新版　基礎から身につくはじめてのデッサン（西東社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年生2時間、2年生2時間、3年生2時間の計6時間
・一斉授業
・個人制作
・完成までの取り組み・技法の理解を重視

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力，判断力，表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
対象を深く観察する力や感性を高め、素描における基本的技能と知識をしっかりと身に付けようとする造形表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めるとともに，対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことがができる。 具体的にはデッサン・着彩の基本（知識、画材の扱い方等）をしっかりと身に付けている。	深い観察を通して，対象のイメージや空間を把握することができる。 具体的には構図、明暗、質感、パースなどの知識を用いて、試行錯誤しながら工夫することでそれぞれの色調や描きこみのバリエーションを増やすことを身に付けている。	学習を通して，主体的に対象を見つめ考察を深めたり，表現材料などを研究し取り入れたりするなど，造形表現を追求する態度を養うことをめざしている。 具体的には作品完成へ向けた根気を養い、合評の機会や参考作品の鑑賞、書物などにおいて各技法の先人についての興味や関心を高め、幅広い知識や技術を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	素描の基礎理論	ア　動物のスケッチ 　／観察　動勢 イ　身近なもののスケッチ 　／観察　知識の利用 ウ　鉛筆デッサン１ 　／計測　パース　構図 エ　着彩１ 　／構造　水彩絵の具の使用	a:造形的な見方・考え方を働かせ，対象のイメージや空間，形体などを把握し，表現材料の特性について理解し生かすことができる。 b:的確に観察する力を基盤にして表現を工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c:繰り返し描写する力を高め，造形表現のを追求に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
2	素描の基礎理論	オ　自然物のスケッチ 　／観察　構造 カ　レンダリング 　（球・円柱・直方体） 　／幾何形体　質感　明暗 キ　剥製スケッチ 　／形体　立体　構造	a:造形的な見方・考え方を働かせ，対象のイメージや空間，形体などを把握し，表現材料の特性について理解し生かすことができる。 b:的確に観察する力を基盤にして表現を工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c:繰り返し描写する力を高め，造形表現のを追求に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
3	多様な表現	古典技法 ク　剥製デッサン（キアロスクーロ） 多様な表現 ケ　人物スケッチ 　絵画制作資料として 　明暗法　コントラストの利用	a:造形的な見方・考え方を働かせ，対象のイメージや空間，形体などを把握し，表現材料の特性について理解し生かすことができる。 b:的確に観察する力を基盤にして表現を工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c:繰り返し描写する力を高め，造形表現のを追求に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度